



2020年(令和2年)11月号

中野区立江原小学校 学校便り

校長 根来 郁明 児童数511名

### 学校教育目標

自立し、共に生き、平和を求める子  
『かしこく』『やさしく』『たくましく』

## 「豊かな心」を育てるために…

校長 根来 郁明

先日の学校公開には、保護者の皆様に多数ご来校いただき、ありがとうございました。時間や人数を限定しての公開ではありますが、可能な限り公開していこうと考えています。

### 1. いじめゼロを目指す

「いじめ」には、殴る・蹴る等の暴力と冷やかす・からかう等の言葉の暴力があります。無視・仲間はずれも「いじめ」になります。さらには、自分には関係ないからと言って、知らないふりをしていることも「いじめ」に含まれます。自分が／相手が嫌な思いをしているなら、それは「いじめ」です。

江原小では、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、「江原小学校いじめ防止基本方針」を定め、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めています。「特別の教科 道徳」や学級活動では、計画的に「いじめをしない資質を育てる」指導をしています。また、全児童を対象に「いじめ等の未然防止と早期発見のためのアンケート」(令和2年度は7月・11月・2月)を行い、いじめの兆候があった場合は、すぐに「いじめをやめさせる」指導をしています。

いじめゼロを目指していますが、残念ながらいじめは無くなりません。相手の気持ちを考えずに嫌なことを言ったり、行動したりする人がまだまだいます。みんなが楽しく学校を通うことができるよう、「いじめは絶対にしてはいけない」と言い続けていきます。

### 2. 自分で考え、自分の判断で選択する

江原小では、教育目標「自立し、共に生き、平和を求める子」の育成を目指して教育活動を進めています。「自立」とは、一般的に「自分のことは自分でできる」「自分でお金を稼いで生活する」等、独立(独り立ちする)という意味で使われることが多いと思います。自立する(自分の力で生きていく)には、現実と向き合い、自ら課題や問題点を考え、自分の力で道を切り拓いていく必要があります。

これからの社会は、人工知能の進化により、職業や仕事の中身が大きく変わる等、将来の予測が困難で、変化の激しい時代になると言われています。変化の激しい社会では、「〇〇しなければならない」「〇〇すべきである」とされていた「今までの常識」が、予測できない形に変わり続けるかもしれません。先行き不確かな時代だからこそ、自分で考え、自分で判断し、自分で選択することが必要になります。

実際の生活では、葛藤する場面が数多く生じます。次から次へと、「どう考えるのか」「どう行動するのか」という判断に迫られます。正解は必ずしも一つではありません。正解を探し続けて悩むこともあるかも知れませんが、本当に大切なことは、時と場合、場面に応じて、数ある選択肢の中から、今はこれが正しいと思う行動を「自分で考え、自分の判断で選択する」ことだと考えています。10年後、20年後、その先の未来に向け、子どもたちには「よりよい生き方を選択できるよう」になってほしいと願っています。

【11月は 児童虐待防止推進月間】

虐待防止標語 「189(いちはやく) 知らせて守る こどもの未来」

